

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 特 許 公 報 (B2)

(11) 特許番号

特許第5331488号
(P5331488)

(45) 発行日 平成25年10月30日 (2013.10.30)

(24) 登録日 平成25年8月2日 (2013.8.2)

(51) Int.Cl.

F I

G 0 6 Q 30/06 (2012.01)

G 0 6 Q 30/06 1 4 0 Z

G 0 6 Q 10/02 (2012.01)

G 0 6 Q 30/06 2 1 0

G 0 6 Q 30/02 (2012.01)

G 0 6 Q 10/02

G 0 6 Q 30/02 1 4 0

G 0 6 Q 30/06 1 7 0

請求項の数 9 (全 32 頁)

(21) 出願番号 特願2009-3 (P2009-3)
 (22) 出願日 平成21年1月1日 (2009.1.1)
 (65) 公開番号 特開2010-157171 (P2010-157171A)
 (43) 公開日 平成22年7月15日 (2010.7.15)
 審査請求日 平成23年12月8日 (2011.12.8)

(73) 特許権者 509006325
 万膳 弘和
 埼玉県さいたま市南区根岸五丁目17番1
 3-1501号
 (74) 代理人 100132300
 弁理士 加藤 浩一
 (72) 発明者 万膳 弘和
 埼玉県さいたま市南区根岸五丁目17番1
 3-1501号
 (72) 発明者 前田 幸孝
 埼玉県川口市大字東内野351番地の7
 審査官 小原 正信

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 書籍管理サーバ、書籍管理システム、書籍管理方法、およびプログラム

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

ユーザが情報端末により書籍について、購入を前提としない置き置き予約を行った場合に、置き置き予約を行った書籍を識別するための書籍識別情報を含む置き置き予約情報を、前記情報端末から受信する置き置き予約情報受信手段と、

前記置き置き予約情報または事前に登録されているユーザ情報から、前記ユーザが前記書籍を閲覧するために指定した店舗を識別するための店舗識別情報を取得するとともに、前記書籍識別情報と前記店舗識別情報を対応付け、前記対応付けられた前記書籍識別情報および前記店舗識別情報とに基づいて、各店舗に配送すべき書籍の数を見積もる配送書籍見積手段と、

前記配送書籍見積手段による見積結果を含む配送指示情報を、前記書籍の配送を行うために所定のコンピュータに送信する配送指示情報送信手段と、

前記指定した店舗に前記ユーザが来店した頻度、および前記ユーザが置き置き予約を行った前記書籍を前記指定した店舗で購入した頻度のうち少なくとも一方を含む実績情報を前記各店舗から受信する実績情報受信手段とを備え、

前記配送書籍見積手段は、前記実績情報受信手段により受信された前記実績情報に基づいて、各店舗に配送すべき書籍の数を見積もることを特徴とする書籍管理サーバ。

【請求項2】

請求項1に記載の書籍管理サーバにおいて、

前記ユーザが前記情報端末により置き置き予約を行う前記書籍は、所定の媒体で広告の

対象となった書籍であることを特徴とする書籍管理サーバ。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の書籍管理サーバにおいて、

前記配送書籍見積手段は、前記書籍に関する広告の情報を含む書籍情報、および前記店舗に関する情報を含む店舗情報のうち少なくとも一方に基づいて、各店舗に配送すべき書籍の数を見積もることを特徴とする書籍管理サーバ。

【請求項 4】

請求項 1 に記載の書籍管理サーバにおいて、

前記配送指示情報送信手段は、前記配送指示情報を、1 日に複数回の配送タイミングで、前記所定のコンピュータに送信し、

前記配送書籍見積手段は、前記配送タイミングに応じた方法で、各回の見積もりを行うことを特徴とする書籍管理サーバ。

【請求項 5】

請求項 1 に記載の書籍管理サーバにおいて、

前記取り置き予約情報、前記店舗識別情報、前記実績情報、前記書籍に関する広告の情報を含む書籍情報、前記店舗に関する情報を含む店舗情報、および前記配送指示情報のうち少なくともいずれかに基づいて、各店舗における書籍の好ましい配置を示す書籍配置情報を生成することを特徴とする書籍管理サーバ。

【請求項 6】

請求項 1 に記載の書籍管理サーバにおいて、

前記ユーザが前記指定した店舗に来店した場合、または前記ユーザが取り置き予約を行った前記書籍を前記指定した店舗で購入した場合に、各店舗でユーザに付与されるポイントを管理するユーザ情報管理手段をさらに備え、

前記ポイントは、前記各店舗のコンピュータによって、前記ユーザが、前記ユーザごとに提供されたポイントカードを前記店舗で提示した場合に付与されることを特徴とする書籍管理サーバ。

【請求項 7】

情報端末と、前記情報端末に所定のネットワークを介して接続される書籍管理サーバとを備える書籍管理システムであって、

前記情報端末は、

書籍について、ユーザからの購入を前提としない取り置き予約を受け付ける取り置き予約受付手段を備え、

前記書籍管理サーバは、

前記ユーザが取り置き予約を行った場合に、前記情報端末から、取り置き予約を行った書籍を識別するための書籍識別情報を含む取り置き予約情報を受信する取り置き予約情報受信手段と、

前記取り置き予約情報または事前に登録されているユーザ情報から、前記ユーザが前記書籍を閲覧するために指定した店舗を識別するための店舗識別情報を取得するとともに、前記書籍識別情報と前記店舗識別情報を対応付け、前記対応付けられた前記書籍識別情報および前記店舗識別情報とに基づいて、各店舗に配送すべき書籍の数を見積もる配送書籍見積手段と、

前記配送書籍見積手段による見積結果を含む配送指示情報を、前記書籍の配送を行うために所定のコンピュータに送信する配送指示情報送信手段と、

前記指定した店舗に前記ユーザが来店した頻度、および前記ユーザが取り置き予約を行った前記書籍を前記指定した店舗で購入した頻度のうち少なくとも一方を含む実績情報を前記各店舗から受信する実績情報受信手段とを備え、

前記配送書籍見積手段は、前記実績情報受信手段により受信された前記実績情報に基づいて、各店舗に配送すべき書籍の数を見積もることを特徴とする書籍管理システム。

【請求項 8】

ユーザが情報端末により書籍について購入を前提としない取り置き予約を行った場合に

10

20

30

40

50

、置き置き予約を行った書籍を識別するための書籍識別情報を含む置き置き予約情報を、前記情報端末から受信する置き置き予約情報受信ステップと、

前記置き置き予約情報または事前に登録されているユーザ情報から、前記ユーザが前記書籍を閲覧するために指定した店舗を識別するための店舗識別情報を取得するとともに、前記書籍識別情報と前記店舗識別情報を対応付け、前記対応付けられた前記書籍識別情報および前記店舗識別情報とに基づいて、各店舗に配送すべき書籍の数を見積もる配送書籍見積ステップと、

前記配送書籍見積ステップによる見積結果を含む配送指示情報を、前記書籍の配送を行うために所定のコンピュータに送信する配送指示情報送信ステップと、

前記指定した店舗に前記ユーザが来店した頻度、および前記ユーザが置き置き予約を行った前記書籍を前記指定した店舗で購入した頻度のうち少なくとも一方を含む実績情報を前記各店舗から受信する実績情報受信ステップとを備え、

前記配送書籍見積ステップは、前記実績情報受信ステップにより受信された前記実績情報に基づいて、各店舗に配送すべき書籍の数を見積もることを特徴とする書籍管理方法。

【請求項9】

書籍管理サーバに、

ユーザが情報端末により書籍について購入を前提としない置き置き予約を行った場合に、置き置き予約を行った書籍を識別するための書籍識別情報を含む置き置き予約情報を、前記情報端末から受信する置き置き予約情報受信手段、

前記置き置き予約情報または事前に登録されているユーザ情報から、前記ユーザが前記書籍を閲覧するために指定した店舗を識別するための店舗識別情報を取得するとともに、前記書籍識別情報と前記店舗識別情報を対応付け、前記対応付けられた前記書籍識別情報および前記店舗識別情報とに基づいて、各店舗に配送すべき書籍の数を見積もる配送書籍見積手段、

前記配送書籍見積手段による見積結果を含む配送指示情報を、前記書籍の配送を行うために所定のコンピュータに送信する配送指示情報送信手段、および、

前記指定した店舗に前記ユーザが来店した頻度、および前記ユーザが置き置き予約を行った前記書籍を前記指定した店舗で購入した頻度のうち少なくとも一方を含む実績情報を前記各店舗から受信する実績情報受信手段として機能させるプログラムであって、

前記配送書籍見積手段は、前記実績情報受信手段により受信された前記実績情報に基づいて、各店舗に配送すべき書籍の数を見積もるプログラム。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

この発明は、書籍の置き置き予約および各店舗に対する書籍の配送を管理するための書籍管理システムに関する。

【背景技術】

【0002】

消費者は、新聞・雑誌などの広告によって、書籍の存在や概要を知ることが多い。そして、書籍に興味を持って購入しようとする場合は通常、書店で当該書籍を探して購入するか、ネット書店で購入することになる。特に近年では、インターネットの普及もあり、インターネットを介した通販の形態をとる、ネット書店を利用して書籍を購入する消費者も目立つ。ネット書店では、消費者が、パーソナルコンピュータ等を使って、所望の書籍を特定し、その書籍を自宅や近くの店舗などに送付するよう指示する。こうすることによって、消費者は、実際の書店に赴くことなく、所望の書籍を容易に購入することができる。

【0003】

このようなネット書店が盛んに利用される一方で、消費者のなかには、書籍の概要、構成、章立て、内容、および質量感等について、その書籍を実際に手に取って確認し、そこで気に入った場合に購入したいというニーズも根強くある。そのような場合、消費者は、たとえば、通学・通勤途中にある駅の売店や、通りの書店で興味のある書籍について、そ

10

20

30

40

50

の内容を概ね確認してから購入することになる。

【0004】

しかしながら、こうした店頭販売を行う売店・書店といった店舗は小規模であることが多く、売り場面積などの関係で、通常は、雑誌、文庫本、ベストセラーの単行本等を中心とした品揃えとなる。そのため、消費者は、新聞広告に載った書籍等を、その日のうちにこうした店舗で実際に手に取って見るができない場合が多い。

【0005】

書籍を予約し購入することができる取次システムは、特許文献1に提案されている。このシステムは、パソコン通信ネットワークなどを介して顧客から書籍の予約と書籍購入店の指定を受け付けると、その顧客に対して予約識別情報を通知し、顧客が指定した購入店

10

でその予約識別情報を提示することによって、予約した書籍の購入が可能となるといった仕組みである。

【特許文献1】特開2001-160104号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0006】

しかしながら、上記のような取次システムでは、あくまで、ユーザによる書籍の購入を前提とした予約を想定したものであり、ユーザは、書籍の予約を行って指定の店舗に行けば、その書籍を購入することができるが、そこでその書籍の概要等を見た後に、購入を自由にキャンセルできるといったオプションは用意されていない。

20

【0007】

さらに、上記取次システムは、単に「購入」の取次を行うシステムであるため、所定の予測に基づいて、各店舗に配送すべき書籍の数を決定するといった機能は備えていない。たとえば、書籍に関する注目度や購入実績等を把握できれば、より精度の高い仕入予測が可能となり、店頭販売を行う店舗では、不要な在庫を抱えるリスクが低減され、より健全な運営を行うことができる。

【0008】

また、上記取次システムでは、ユーザが購入する書籍を、そのユーザがどのような経緯で知ったかを把握することができない。たとえば、どの媒体の広告によって書籍を知ったのか、その書籍に興味を持ち実際に店舗に行って内容を確認したかどうか、最終的に購入したかどうかといった情報を、ユーザの属性ごとに把握することができれば、出版社や広告を掲載する新聞社等にとって、その戦略上、非常に有益である。

30

【0009】

したがって、本発明の目的は、ユーザに対して、所定媒体の広告で目にした書籍について、購入することを前提としない「置き置き予約」を可能として、ユーザが指定した店舗で容易に当該書籍の概要を確認することができる（手に取って見るができる）ようにする一方で、ユーザが「置き置き予約」をした数や、店舗における購入（販売）実績等から、店舗に配送すべき書籍の数量を適切に見積もることができる書籍管理システムを提供することにある。

【0010】

さらに、本発明の目的は、ユーザの来店頻度や購入頻度等を含む実績情報を、出版社、取次会社、広告掲載新聞社、広告代理店等の関係機関に提供することができる書籍管理システムを提供することにある。

40

【0011】

またさらに、本発明の目的は、ユーザが「置き置き予約」をした数や、店舗における購入（販売）実績等に応じて、各店舗における好ましい書籍の配置を表す書籍配置情報を提供することができる書籍管理システムを提供することにある。

【課題を解決するための手段】

【0012】

本発明の第1の実施態様は、ユーザが情報端末により書籍について置き置き予約を行っ

50

た場合に、取り置き予約を行った書籍を識別するための書籍識別情報を含む取り置き予約情報を、前記情報端末から受信する取り置き予約情報受信手段と、前記取り置き予約情報または事前に登録されているユーザ情報から、前記ユーザが前記書籍を閲覧するために指定した店舗を識別するための店舗識別情報を取得するとともに、前記書籍識別情報と前記店舗識別情報を対応付け、前記対応付けられた前記書籍識別情報および前記店舗識別情報とに基づいて、各店舗に配送すべき書籍の数を見積もる配送書籍見積手段と、前記配送書籍見積手段による見積結果を含む配送指示情報を、前記書籍の配送を行うために所定のコンピュータに送信する配送指示情報送信手段とを備えるように構成された書籍管理サーバである。

【0013】

10

本発明の第2の実施態様は、第1の実施態様の書籍管理サーバにおいて、前記ユーザが前記情報端末により取り置き予約を行う前記書籍は、所定の媒体で広告の対象となった書籍であるように構成される。

【0014】

本発明の第3の実施態様は、第1の実施態様の書籍管理サーバにおいて、前記指定した店舗に前記ユーザが来店した頻度、および前記ユーザが取り置き予約を行った前記書籍を前記指定した店舗で購入した頻度のうち少なくとも一方を含む実績情報を前記各店舗から受信する実績情報受信手段をさらに備え、前記配送書籍見積手段は、前記実績情報受信手段により受信された前記実績情報に基づいて、各店舗に配送すべき書籍の数を見積もるように構成される。

20

【0015】

本発明の第4の実施態様は、第1の実施態様の書籍管理サーバにおいて、前記配送書籍見積手段は、前記書籍に関する前記広告の情報を含む書籍情報、および前記店舗に関する情報を含む店舗情報のうち少なくとも一方に基づいて、各店舗に配送すべき書籍の数を見積もるように構成される。

【0016】

本発明の第5の実施態様は、第1の実施態様の書籍管理サーバにおいて、前記配送指示情報送信手段は、前記配送指示情報を、1日に複数回の配送タイミングで、前記所定のコンピュータに送信し、前記配送書籍見積手段は、前記配送タイミングに応じた方法で、各回の見積もりを行うように構成される。

30

【0017】

本発明の第6の実施態様は、第3の実施態様の書籍管理サーバにおいて、前記取り置き予約情報、前記店舗識別情報、前記実績情報、前記書籍に関する前記広告の情報を含む書籍情報、前記店舗に関する情報を含む店舗情報、および前記配送指示情報のうち少なくともいずれかに基づいて、各店舗における書籍の好ましい配置を示す書籍配置情報を生成するように構成される。

【0018】

本発明の第7の実施態様は、第3の実施態様の書籍管理サーバにおいて、前記ユーザが前記指定した店舗に来店した場合、または前記ユーザが取り置き予約を行った前記書籍を前記指定した店舗で購入した場合に、各店舗でユーザに付与されるポイントを管理するユーザ情報管理手段をさらに備え、前記ポイントは、前記各店舗のコンピュータによって、前記ユーザが、前記ユーザごとに提供されたポイントカードを前記店舗で提示した場合に付与されるように構成される。

40

【0019】

本発明の第8の実施態様は、情報端末と、前記情報端末に所定のネットワークを介して接続される書籍管理サーバとを備える書籍管理システムであって、前記情報端末は、書籍について、ユーザからの取り置き予約を受け付ける取り置き予約受付手段を備え、前記書籍管理サーバは、前記ユーザが取り置き予約を行った場合に、前記情報端末から、取り置き予約を行った書籍を識別するための書籍識別情報を含む取り置き予約情報を受信する取り置き予約情報受信手段と、前記取り置き予約情報または事前に登録されているユーザ情

50

報から、前記ユーザが前記書籍を閲覧するために指定した店舗を識別するための店舗識別情報を取得するとともに、前記書籍識別情報と前記店舗識別情報を対応付け、前記対応付けられた前記書籍識別情報および前記店舗識別情報とに基づいて、各店舗に配送すべき書籍の数を見積もる配送書籍見積手段と、前記配送書籍見積手段による見積結果を含む配送指示情報を、前記書籍の配送を行うために所定のコンピュータに送信する配送指示情報送信手段とを備えるように構成される書籍管理システムである。

【0020】

本発明の第9の実施態様は、ユーザが情報端末により書籍について取り置き予約を行った場合に、取り置き予約を行った書籍を識別するための書籍識別情報を含む取り置き予約情報を、前記情報端末から受信する取り置き予約情報受信ステップと、前記取り置き予約情報または事前に登録されているユーザ情報から、前記ユーザが前記書籍を閲覧するために指定した店舗を識別するための店舗識別情報を取得するとともに、前記書籍識別情報と前記店舗識別情報を対応付け、前記対応付けられた前記書籍識別情報および前記店舗識別情報とに基づいて、各店舗に配送すべき書籍の数を見積もる配送書籍見積ステップと、前記配送書籍見積ステップによる見積結果を含む配送指示情報を、前記書籍の配送を行うために所定のコンピュータに送信する配送指示情報送信ステップとを備えるように構成される書籍管理方法である。

10

【0021】

本発明の第10の実施態様は、書籍管理サーバに、ユーザが情報端末により書籍について取り置き予約を行った場合に、取り置き予約を行った書籍を識別するための書籍識別情報を含む取り置き予約情報を、前記情報端末から受信する取り置き予約情報受信手段、前記取り置き予約情報または事前に登録されているユーザ情報から、前記ユーザが前記書籍を閲覧するために指定した店舗を識別するための店舗識別情報を取得するとともに、前記書籍識別情報と前記店舗識別情報を対応付け、前記対応付けられた前記書籍識別情報および前記店舗識別情報とに基づいて、各店舗に配送すべき書籍の数を見積もる配送書籍見積手段、および、前記配送書籍見積手段による見積結果を含む配送指示情報を、前記書籍の配送を行うために所定のコンピュータに送信する配送指示情報送信手段として機能させるプログラムである。

20

【発明の効果】

【0022】

本発明の書籍管理システムによって、ユーザは、所定媒体の広告で目にした書籍について、購入することを前提としない「取り置き予約」を可能となり、これによって、容易に指定の店舗で当該書籍の概要を確認することができる。一方、ユーザが「取り置き予約」をした数や、取り置き予約をしたユーザが実際に指定の店舗に来店した頻度等から、各書籍に関する注目度を把握することができる。

30

【0023】

さらに、本発明の書籍管理システムによって、各書籍に関する注目度に応じて、各店舗に配置される書籍の好ましい数量が決定される。こうした合理的な書籍に配置数量の決定により、各店舗はより効率的に書籍の販売を行うことができる。また、本発明の書籍管理システムによって、出版社、取次会社、広告掲載新聞社、広告代理店等の関係機関は、各書籍に関して、ユーザの来店頻度や購入頻度等を把握することができ、これによって今までとは異なる観点で、書籍や広告の評価を行うことができる。さらに、出版社は増刷をいち早く予測でき、在庫切れによる販売機会の喪失が多少なりとも回避できる。

40

【0024】

またさらに、本発明の書籍管理システムによって、各店舗における好ましい書籍の配置を表す書籍配置情報が提供され、各店舗は、当該情報に基づいて、書籍の注目度等に応じた合理的な配置を行うことができる。

【発明を実施するための最良の形態】

【0025】

最初に、本発明の一実施形態に係る書籍管理システムの概要を、図1を参照して説明す

50

る。本発明の書籍管理システム１は、書籍管理サーバ２０、情報端末４０、および店舗ＰＣ７０を含み、書籍管理サーバ２０と情報端末４０は、公衆回線を含むネットワークによって接続され、書籍管理サーバ２０と店舗ＰＣは、たとえば、インターネットを含むネットワークによって接続される。

【００２６】

書籍管理サーバ２０は、たとえば、書籍管理システム１の運営・管理を行う組織の場所（以降、このような場所を管理サイト１０という）に配置され、記憶装置３０を備える。記憶装置３０には、書籍に関する情報である書籍情報を記憶する書籍情報テーブル、書籍を購入する店舗に関する情報である店舗情報を記憶する店舗情報テーブル、書籍管理システム１のユーザに関する情報であるユーザ情報を記憶するユーザ情報テーブル、ユーザから送信された置き置き予約に関する情報である置き置き予約情報を記憶する置き置き予約情報テーブル、およびユーザが置き置き予約の際に指定した店舗に来店したかどうかやユーザが置き置き予約をした書籍をその店舗で実際に購入したかどうかを表す実績情報を記憶する実績情報テーブルが配置される。

10

【００２７】

本明細書において、「ユーザ」は、本発明の書籍管理システム１に登録された利用者を指し、一方「顧客」は、店舗の顧客であって、書籍管理システム１に登録されていない書籍の購入者等も含むものとして使用される。書籍情報は、新聞等の広告に掲載された書籍やその広告に関する情報であり、新聞社や広告代理店といった、その広告の掲載に関わる組織（広告掲載会社）から提供される。

20

【００２８】

情報端末４０は、たとえば、電話やＰＤＡ（Personal Digital Assistant）などの携帯型情報端末であり、ユーザによって操作される。書籍管理システム１には複数のユーザが登録され、したがって、複数の情報端末４０が書籍管理サーバ２０にアクセスすることになる。また、情報端末４０は、自宅や勤務先に配置されている据置型のＰＣ（パーソナルコンピュータ）のような機器であってもよい。

【００２９】

情報端末４０は、ユーザの操作にしたがって書籍管理サーバ２０にアクセスし、書籍情報を情報端末４０の表示装置に、たとえばＷＥＢページとして表示させる。ここでユーザは、情報端末４０をさらに操作し、表示された書籍情報から、置き置き予約を行う書籍を選択し、さらにその書籍の置き置き店舗や書籍の数を必要に応じて指定する。これら情報は、置き置き予約情報として書籍管理サーバ２０により受信され、置き置き予約情報テーブルに記憶される。置き置き予約情報は、少なくとも書籍を識別するための書籍識別情報を含むが、この書籍識別情報は、所定の範囲において書籍の識別が可能であればよく、情報端末４０に表示された書籍情報であってもよいし、そうでなくてもよい。たとえば、書籍識別情報として、情報端末４０においてユーザに選択された書籍の書籍情報の全部または一部を設定したり、ユーザに選択された書籍に（または書籍情報に）関連付けられたＩＳＢＮコード等を用いることもできる。

30

【００３０】

書籍管理サーバ２０は、置き置き予約情報や実績情報等に基づいて、各店舗に配送する書籍を決定するとともに、その数量を見積もり、配送センターＰＣ８０に配送指示を送信する。配送センターおよび配送センターＰＣ８０は、書籍管理サーバ２０と同じ場所である管理サイト１０に設けられることが好ましい。配送センターは、配送センターＰＣ８０で受信した書籍の配送指示情報や他の情報に基づいて、配送センターにおける書籍の在庫が十分であるかどうかを判定する。そして、もし在庫不足である場合、または在庫不足が見込まれる場合は、出版社や取次会社等を含む書籍納品会社に当該書籍の発注を行い、その書籍納品会社から、当該発注に対応する納品を受け取る。また、配送センターＰＣ８０は、書籍の在庫に関する情報である書籍在庫情報を記憶する書籍在庫情報テーブルを含む記憶装置９０を備える。

40

【００３１】

50

配送センターは、書籍納品会社から書籍の納品を受けると（あるいは、その他の所定のタイミングで）、配送指示情報にしたがって、各店舗に書籍を配送する。図1の例では、店舗として、店舗A、店舗B、および店舗Cが例示されているが、より多くの店舗が管理されうる。店舗は、たとえば、駅の売店、市中の書店やコンビニエンスストア等である。ユーザはここで、置き置き予約した書籍を実際に手に取って見ることができ、概要等を確認したうえで、その書籍を購入するかどうかを判断することができる。また、これらの店舗は通常、書籍管理システム1のユーザ以外の者も利用するので、これらの者が陳列された書籍を購入することもある。

【0032】

各店舗には、店舗PC70が配置される。店舗PC70はPOSレジスター機能等を備え、店舗における実績情報を管理する。たとえば、店舗において顧客が書籍を購入した頻度を管理するとともに、置き置き予約を行ったユーザが来店した頻度、置き置き予約を行ったユーザが置き置き書籍を購入した頻度、および置き置き予約を行っていないユーザが書籍を購入した頻度等を管理する。

【0033】

書籍管理システム1のユーザは、置き置き予約を行った際に情報端末40の表示装置等で提供された予約番号を提示して、置き置き書籍を購入する。そうすることによって、置き置き予約を行ったユーザが置き置き書籍を購入したという事象が的確に把握される。また、たとえば、ユーザごとに提供され、有利な特典を持つポイントを記憶するためのポイントカードを提供し、購入時にポイントカードを提示してもらうことによって、置き置き予約を行ったユーザが置き置き書籍を購入したという事象を把握することができる（この場合は、置き置き予約を行っていないユーザが書籍を購入した事象も把握できる）。さらに、置き置き予約を行ったユーザが来店はしたが、置き置き書籍は購入しなかったという事象は、来店時にポイントカードを提示してもらい、そこでポイントを付与することにより把握できる。

【0034】

ユーザにとっては、特に、来店はしたが置き置き書籍の購入をしなかったという場合に、ポイントカードを提示することが煩雑であり、この事象の把握が困難であるが、このときの提示によって店舗PC70がポイントカードに来店ポイントを付与することにより、より正確にユーザの実績情報を把握できる。一方で、購入をせずに置き置き予約と来店を繰り返して、来店ポイントのみを得ようとするユーザに対しては、所定期間内での上限ポイントを設け、当該行為の防止を図る。

【0035】

このように、書籍管理システム1において付与されるポイントは、当該システムによる置き置き予約を利用したことに対するポイント、または、店舗に来店したことに対するポイントという性格を有している。

【0036】

こうして、店舗PC70によって蓄積された来店・購入に係る実績情報は、所定のタイミングで書籍管理サーバ20に送信され、予約番号やポイントカードの番号等により、来店・購入の実績が特定のユーザごとに管理される。書籍管理サーバ20は、受信した実績情報を実績情報テーブルに記憶する。書籍管理サーバ20は、必要に応じてこの実績情報を適宜計算・編集し、広告掲載会社に設置された広告掲載会社PC50や書籍納品会社に設置された書籍納品会社PC60等に送信する。広告掲載会社や書籍納品会社は、こうした実績情報を入手することにより、広告や書籍に対して、いままでにない観点での評価を行うことが可能となる。また、出版社は増刷をいち早く予測でき、在庫切れによる販売機会の喪失が多少なりとも回避できる。

【0037】

また、書籍管理サーバ20は、置き置き予約情報、店舗識別情報、実績情報、書籍情報、店舗情報、配送センターPC80に送信した配送指示情報のうち、少なくともいずれかを用いて書籍配置情報を生成し、各店舗に送信する。この書籍配置情報は、より多くの販

10

20

30

40

50

売が見込める理想的な書籍の配置を表すものである。たとえば、前日までの購入（販売）履歴や置き予約情報などから、ユーザが興味を示している書籍がなにかといった点が分析され、これが、書籍配置情報に加味される。

【0038】

図2は、書籍管理システム1の機能ブロック図を示している。書籍管理サーバ20は、WEBアクセス制御部21、書籍・店舗情報管理部22、ユーザ情報管理部23、置き予約管理部24、配送書籍見積部25、配送指示送信部26、実績情報管理部27、配置情報管理部28、およびネットワークI/F部29を備える。また、書籍管理サーバ20は記憶装置30を備え、記憶装置30には、書籍情報テーブル31、店舗情報テーブル32、ユーザ情報テーブル33、置き予約情報テーブル34、および実績情報テーブル35が含まれる。

10

【0039】

情報端末40は、インターネット上のWEBページを表示可能な一般的な情報端末であり、WEBブラウザ41、およびネットワークI/F部42を備える。

【0040】

広告掲載会社PC50は、書籍情報送信部51、実績情報受信部52、およびネットワークI/F部53を備える。

【0041】

店舗PC70は、実績情報送信部71、配置情報受信部72、ポイント管理部73、およびネットワークI/F部74を備える。

20

【0042】

配送センターPC80は、配送指示受信部81、書籍在庫管理部82、およびネットワークI/F部83を備える。また、配送センターPC80は、記憶装置90を備え、記憶装置90には、書籍在庫情報テーブル91が含まれる。

【0043】

書籍管理サーバ20のWEBアクセス制御部21は、情報端末40からのWEBページ要求に应答して、対応するWEBページを情報端末40のWEBブラウザ41に送信する。また、情報端末40のWEBブラウザを経由して入力されたデータを、指示に基づいて記憶装置30内のテーブルに記憶する。

【0044】

30

書籍・店舗情報管理部22は、広告掲載会社PC50から送信された書籍情報を受信し、それを書籍情報テーブル31に記憶する。この書籍情報は、たとえば、新聞社や広告代理店などの広告掲載会社によって実際に広告に掲載された書籍やその広告に関する情報であり、書籍を識別するための書籍識別情報（たとえば、ISBNコード、タイトル＋出版社、またはタイトル＋出版社＋著者など）、掲載媒体名、タイトル、価格、出版社、著者、ISBNコード、概要情報、記載内容の分野、掲載日、掲載ページ、掲載欄サイズ、および掲載欄位置などのデータを含む。

【0045】

また、書籍・店舗情報管理部22は、管理サイトの担当者や各店舗から店舗に関する情報を受信し、それを店舗情報テーブル32に記憶する。この店舗は、置き予約がされた書籍を受け取って、ユーザの閲覧・購入のために陳列する書店であり、店舗情報には、たとえば、店舗を識別するための店舗識別情報（たとえば、店舗コード、店舗名＋支店名など）、店舗名、住所、店舗面積、書棚のサイズ・配置などのデータが含まれる。なお、店舗識別情報は、所定の範囲において店舗の識別が可能であればよく、情報端末40に表示された店舗情報であってもよいし、そうでなくてもよい。たとえば、店舗識別情報として、情報端末40においてユーザに選択された店舗の店舗情報の全部または一部を設定したり、ユーザに選択された店舗に（または店舗情報に）関連付けられた店舗コード等を用いることもできる。

40

【0046】

ユーザ情報管理部23は、情報端末40のWEBブラウザや他のコンピュータ（のWE

50

Bブラウザ等)を介してユーザ登録がされると、その際に指定されたユーザに関する情報を受信し、それをユーザ情報テーブル33に記憶する。このユーザ情報は、たとえば、ユーザ名、ユーザID、パスワード、メールアドレス、年齢、性別、決済カード情報、職業、自宅住所、勤務先住所、ポイント残高などを含む。ここで、ユーザ名や年齢、性別、職業などは必須の項目ではない。また、自宅住所および勤務先住所については、番地までは必要とされない。これらの住所の代わりに、通勤・通学駅(乗車駅、下車駅)を指定することもできる。

【0047】

また、ユーザ情報として、置き置き店舗(デフォルト)、置き置き数(デフォルト)、掲載されている新聞の表示順、書籍の表示順、店舗の表示順等が含まれる。これらの項目については、後で詳細に説明する。

10

【0048】

置き置き予約管理部24は、情報端末40を介してユーザから要求があった場合に、情報端末40のWEBブラウザに、置き置き予約画面を表示させるよう制御する。置き置き予約画面では、そのユーザが置き置きしたい書籍が指定され、さらに、その書籍を置き置きしておく店舗が指定される。そして、置き置き予約管理部24は、この置き置き予約画面において、ユーザが指定した内容(置き置き予約情報)を情報端末40から受信し、それを置き置き予約情報テーブル34に記憶する。この置き置き予約情報には、書籍を識別するための書籍識別情報、書籍を閲覧・購入するための店舗を識別するための店舗識別情報、および置き置き予約を行う書籍数(置き置き数)が含まれるが、店舗識別情報や置き置き数は、デフォルトをユーザ情報として登録しておくこともでき、そのような場合には、置き置き予約情報にこれらの情報を含める必要はない。また、置き置き予約管理部24は、書籍の置き置き予約が書籍管理システムにおいて正常に受信されたことを、たとえば、そのユーザ宛にメールを送信することによって通知する。また、メールのメッセージには、置き置き予約の有効期限(たとえば、数日間)の案内が自動的に付加される。こうしたメールは、たとえばユーザの情報端末40のメール機能により受信される。

20

【0049】

配送書籍見積部25は、置き置き予約情報テーブル34に記憶されている置き置き予約情報や、実績情報テーブル35に記憶されている実績情報等に基づいて、各店舗に配送する書籍とその数量を、所定のタイミングで求める(見積もる)。そして、配送指示送信部26は、この見積結果にしたがって、配送センターPC80に配送指示情報を送信する。また、この例では、配送指示情報を配送センターPC80に送信しているが、このような集中的に管理された配送センターへの送信には限られない。たとえば、何カ所かに分散配置された配送センターにそれぞれ配送することもできるし、対応する店舗の分を直接店舗PC70に送信して、各店舗において書籍の手配を行うように運用することもできる。

30

【0050】

配送書籍見積部25による見積もりは、当日の実績等を踏まえて、1日の間に複数回行われる。各回の見積もりの方法は同じである必要はない。たとえば、各回ごとに、見積もりの計算式とデータを変化させることができる。また、置き置き予約情報として、書籍識別情報のみが含まれる場合もあるが、その場合は、置き置き予約情報に関連するユーザのユーザ情報から、デフォルトで指定されている店舗識別情報とデフォルトで指定されている置き置き数を求めたうえで、見積もりを行うように設計することもできる。またここで、ユーザ情報において、あるいはシステム設計上、各書籍の置き置き数を固定的に1とすることもできる。

40

【0051】

実績情報管理部27は、各店舗から来店・購入等に関する実績情報を取得し、実績情報テーブル35に記憶する。その後、所定のタイミングで、または広告掲載会社や書籍納品会社等の要求に応じて、それぞれ、広告掲載会社PC50、書籍納品会社PC60に、実績情報を送信する。実績情報は、各店舗から受信した実績情報そのものであってもよいし、これらの情報の一部や、これらの情報に統計的な処理を加えたものであってもよい。

50

【0052】

配置情報管理部28は、置き置き予約情報テーブル34に記憶されている置き置き予約情報、店舗識別情報、実績情報テーブル35に記憶されている実績情報、書籍情報テーブル31に記憶されている、書籍やその広告に関する書籍情報、店舗情報テーブル32に記憶されている、店舗サイズや書棚の情報などを含む店舗情報、および配送指示送信部26が配送センターPC80に送信した配送指示等のデータに基づいて、各店舗に書籍配置情報を生成し、これを各店舗の店舗PC70に送信する。この書籍配置情報は、上述したように、各店舗で、どのような書籍の配置が、より多くの販売につながる効果的な配置を示唆する情報である。

【0053】

ネットワークI/F部29は、ネットワーク100に対するインタフェースを実現し、書籍管理サーバ20と、情報端末40、配送センターPC80、店舗PC70、書籍納品会社PC60、および広告掲載会社PC50との間のデータの送受信を制御する。ここでは、便宜上、ネットワーク100が1つだけ表示されているが、情報端末40との間のネットワーク100は通常、公衆電話回線（情報端末40が携帯電話である場合は、携帯電話回線）およびインターネットを含み、店舗PC70や書籍納品会社PC60、広告掲載会社PC50との間のネットワーク100は通常、インターネットを含む。また、同じ管理サイト10にある配送センターPC80との間のネットワーク100は、構内LAN等を介して接続される。書籍管理システム1の各構成要素（コンピュータ）のネットワークI/F部も同様の機能であり、以降では説明を省略する。

【0054】

情報端末40のWEBブラウザ41は、インターネットを介して、WEBサーバとして機能する書籍管理サーバ20にアクセスし、要求したWEBページを表示する。WEBページに表示された画面から入力されたデータや指示は、WEBブラウザによって書籍管理サーバ20に送信され、そこでそれぞれ対応する処理やデータ記憶が行われる。この例では、WEBブラウザ41（WEBページ）によって、ユーザが指定した置き置き予約が受け付けられ、書籍識別情報等を含んだ置き置き予約情報が書籍管理サーバ2の置き置き予約管理部24に送信される。

【0055】

広告掲載会社PC50の書籍情報送信部51は、その広告掲載会社（たとえば、新聞社）の広告に掲載された書籍に関する書籍情報を、書籍管理サーバ20に送信する。ここでは、便宜上、広告掲載会社に配置された広告掲載会社PC50によって書籍情報が提供されるが、第三者の機関に設置されているコンピュータ等、他のコンピュータから提供されてもよい。実績情報受信部52は、書籍管理サーバ20の実績情報管理部27から、実績情報を受信する。

【0056】

店舗PC70の実績情報送信部71は、書籍管理サーバ20の実績情報管理部27に対して、各店舗における実績情報を送信する。配置情報受信部72は、書籍管理サーバ20の配置情報管理部28から、所定のタイミングで書籍配置情報を受信する。ポイント管理部73は、ユーザのポイントカードが提示された場合に、そのポイントカードのポイント残高を更新するとともに、書籍管理サーバ20のユーザ情報管理部23にそのポイント残高更新を通知して、ユーザ情報テーブル33に記憶されているユーザのポイント残高を更新する。ポイントカードは、ICカード等、ある程度の容量のデータを記憶しておくことができるカードであることが望ましい。加算されるポイントはユーザの振る舞いによって変化させることができ、たとえば、置き置き予約をして来店しただけの場合には3ポイント、置き置き予約をして書籍を購入した場合は、10ポイントといった設定にすることができる。また、ユーザが置き置き予約の際に示された予約番号を提示した場合は、その予約番号が書籍管理サーバ20のユーザ情報管理部23に送信され、そこで対応するユーザのポイントが更新される。

【0057】

配送センター P C 8 0 の配送指示受信部 8 1 は、書籍管理サーバ 2 0 の配送指示送信部 2 6 が送信した配信指示を受信し、その情報に基づいて、書籍納品会社に書籍の発注を行う。当該発注は、配信指示の受信に連動して自動的に行われるように設計してもよいし、担当者の確認後に、手動で書籍納品会社に伝えられてもよい。書籍在庫管理部 8 2 は、書籍納品会社から書籍の納品があった場合に、書籍在庫情報テーブル 9 1 の在庫データを更新し、さらに、各店舗に書籍の配送が行われる場合に、当該在庫データを更新する。

【0058】

図 2 では、書籍納品会社 P C 6 0 の記載を省略してあるが、書籍納品会社 P C 6 0 は、書籍管理サーバ 2 0 から実績情報を受信する実績情報受信部と、書籍管理サーバ 2 0 とのネットワーク接続を実現するネットワーク I / F 部を備える。

10

【0059】

次に、図 3 を参照して、書籍管理システム 1 のユーザ登録画面の例について説明する。ユーザは、たとえば、P C を用いて書籍管理サーバ 2 0 にアクセスし、そこで表示されたユーザ登録メニューに、ユーザ I D とパスワードを指定して、図 3 のユーザ登録画面 2 0 0 を表示させる。ここでは、ユーザ登録画面 2 0 0 は P C の表示装置に表示されるが、ユーザが操作する携帯型の情報端末 4 0 の表示装置に表示させるようにもできる。

【0060】

ユーザ登録画面 2 0 0 には、ユーザプロフィール設定領域 2 1 0、新聞等設定領域 2 2 0、および店舗設定領域 2 3 0 を含む。ユーザプロフィール設定領域 2 1 0 では、ユーザのメールアドレス等、ユーザのプロファイルが入力されるようになっている。ここではユーザ名が入力されるようになっているが、この項目は、ニックネームとしたり、省略したりすることができる。また、自宅住所や勤務先住所については、番地まで入力する必要はない。ユーザ登録画面 2 0 0 のレイアウトはユーザ登録内容表示画面と同様であるが、ユーザ登録内容表示画面では、ユーザのポイント残高を示す領域が設けられる。

20

【0061】

新聞等設定領域 2 2 0 と店舗設定領域 2 3 0 では、ユーザが置き置き予約を行う場合に、ユーザの情報端末 4 0 の表示装置に表示される掲載新聞選択画面、書籍選択画面、および店舗指定画面の表示方法についての設定を行う。新聞等設定領域 2 2 0 では、どの新聞の広告に掲載された書籍を取り置きの対象とするかと、書籍の一覧をどのような順で表示するかをしている。新聞の候補は、自宅住所や勤務先住所等から自動的に設定されうる。また、新聞を自宅住所や勤務先住所等から自動的に決定することもできる。

30

【0062】

店舗設定領域 2 3 0 では、取り置いた書籍をどの店舗で閲覧、購入するかを指定する。店舗の候補は、自宅住所や勤務先住所の近傍、自宅住所や勤務先住所の最寄駅、通勤・通学時の乗り換え駅など、さまざまな観点で自動的に設定されうる。さらに、複数の店舗を指定している場合に、店舗の一覧をどのような順で表示するかをしている。たとえば、店舗を勤務先に近い順に表示したり、自宅に近い順に表示したりすることができる。

【0063】

書籍設定領域 2 4 0 では、置き置き予約の際に、各書籍の冊数をどのように扱うかについて設定する。この例では、書籍を指定した場合は、常に 1 冊として、置き置き予約の際には、冊数の指定領域は表示されない。また、「置き置き予約時に指定」を選択すれば、置き置き予約の際に、その書籍の置き置き冊数を指定する領域が表示される。

40

【0064】

次に、図 4 および図 5 を参照して、ユーザが置き置き予約を行う場合に、ユーザの情報端末 4 0 の表示装置に表示される一連の画面について説明する。これらの画面は、情報端末 4 0 の W E B ブラウザ 4 1 によって表示され、W E B ブラウザ 4 1 は、書籍管理サーバ 2 0 の W E B アクセス制御部 2 1 との間でデータの送受信を行う。

【0065】

ユーザが情報端末 4 0 で置き置き予約を行う場合、まず、ログイン画面（不図示）において、ユーザ I D とパスワードを入力し、ユーザが書籍管理システム 1 の正規のユーザで

50

あるかどうかが判定される。図4Aは、その後に表示される掲載新聞選択画面300である。タイトル表示部301の下には、3つの新聞の候補が、新聞名称表示部302ないし304に表示されている。この表示は、図3に示したユーザ登録画面200の新聞等設定領域220で指定した内容に基づくものである。

【0066】

ユーザは、(ガイドメッセージ表示部305で表示されているとおり)新聞名称表示部302ないし304に表示されている新聞の1つをマウスでクリックして選択する。また、新聞名称表示部302ないし304のそれぞれに対応するチェックボックスを設け、複数の新聞を指定することもできる。ボタン表示部306の次ページボタンをマウスでクリックすると、次の新聞の候補が表示される。

10

【0067】

ユーザ登録画面200の新聞等設定領域220で指定したとおりでよく、また新聞を選択する余地のない場合は、この掲載新聞選択画面300の表示を省略することもできる。新聞の選択をした後、ボタン表示部306の決定ボタンをマウスでクリックすると、次の書籍選択画面が表示される。

【0068】

図4Bは、書籍選択画面350の例を示したものである。この表示は、掲載新聞選択画面300で「A新聞(10/4朝 埼玉○版)」を表示した新聞名称表示部302が選択された後、決定ボタンがクリックされた場合であり、タイトル表示部351の下には、図3に示したユーザ登録画面200の新聞等設定領域220で指定した表示順に基づいて、書籍の一覧が示されている。書籍は、前ページの掲載新聞選択画面300で指定された新聞「A新聞(10/4朝)」の広告に掲載された書籍であり、選択された新聞の名称が、選択新聞表示部352に表示されている。ここで、ユーザは、(ガイドメッセージ表示部356で表示されているとおり)書籍情報表示部353ないし355に表示された書籍のうち、取り置いてもらって閲覧をしたいと思う書籍にチェックをする。次の書籍を表示させるには、ボタン表示部357の次ページボタンをマウスでクリックする。決定する場合は、決定ボタンをマウスでクリックする。ここで決定ボタンをクリックすると、画面は店舗指定画面に遷移する。

20

【0069】

図5Aは、店舗指定画面400の例を示したものである。この表示は、書籍選択画面350で「書籍D(1980円、○○社)」を表示した書籍情報表示部353が選択された後、決定ボタンがクリックされた場合である。掲載新聞選択画面300で「A新聞(10/4朝)」が指定され、書籍選択画面350で「書籍D」が指定されていることがそれぞれ、選択新聞表示部402、選択書籍表示部403に示されている。

30

【0070】

店舗情報表示部404ないし406に表示された店舗は、図3に示したユーザ登録画面200の店舗設定領域230で指定した表示順に基づいて表示されている。(ガイドメッセージ表示部407にしたがって)店舗情報表示部404ないし406に表示された店舗のうち、取り置いてもらって閲覧をしたいと思う店舗をマウスでクリックし、ボタン表示部408の決定ボタンをクリックすると、ユーザによる置き置き予約の操作が完了する。さらに他の店舗を表示させるには、ボタン表示部408の次ページボタンをマウスでクリックする。

40

【0071】

店舗が、ユーザ登録画面200の店舗設定領域230で指定したとおりでよく、他の店舗を選択することがないような場合は、この店舗指定画面400の表示を省略することもできる。また、事前の登録により、いくつかの店舗を個別に設定しておき、置き置き予約時に毎回、それらの店舗の中から選択するようにもできる。

【0072】

ユーザがボタン表示部408の決定ボタンをクリックすると、ユーザによる置き置き予約の操作が完了し、情報端末40の表示画面に、図5Bに示すような置き置き完了確認画

50

面450が表示される。この画面のガイドメッセージ表示部452では、「以下の内容で置き置き予約が完了しました」とのメッセージが表示され、ガイドメッセージ表示部453に、置き置き対象である「書籍D」と、置き置きされる店舗である「□□駅G書店」が示される。ユーザは、この画面表示を見ることによって、置き置き予約が正常に完了したことを認識することができる。また、ボタン表示部408の決定ボタンのクリックとともに、置き置き対象である「書籍D」を識別する書籍識別情報と、置き置きされる店舗である「□□駅G書店」を識別する店舗識別情報を含む置き置き予約情報が、書籍管理サーバ20に対して送信される。

【0073】

置き置き完了確認画面450のガイドメッセージ表示部454には、置き置きがされる期間についての案内も表示される。また、この表示とともに、ユーザのメールアドレスに確認メッセージが送信されるようにしてもよい。置き置き完了確認画面450のガイドメッセージ表示部455には、置き置きがされる期間の終了についての案内も表示される。この例では、置き置き期間終了の6時間前に、その旨のメールが送信されるようにユーザが指定できるようになっている。また、下部のチェックボックスにチェックをすることによって、当該メールの送信がされないように指定できる。

【0074】

また、このときに、予約番号が表示され、またはメールで送信されるようにできる。ユーザが、指定した店舗に来店した際にこの予約番号を示すと、店舗PC70の操作によって所定のポイントがそのユーザに付与される。ポイントカードが提供されている場合は、予約番号は必要なく、店舗PC70にこのポイントカードを読み込ませることによって、所定のポイントが付与される。

【0075】

また、置き置き対象の書籍が、出版社等の都合ですぐに入荷できない場合は、置き置き完了確認画面450において、その旨と入荷予定日が示される。入荷があった場合に、メールアドレスに対してその旨の通知を行うようにすることもできる。

【0076】

図6は、置き置き実績表示画面500の例を示したものである。この画面は、たとえば、書籍管理サーバ20の実績情報管理部27から広告掲載会社PC50に送信された実績情報をもとに生成され、広告掲載会社PC50の表示装置に表示される。この場合は、書籍管理サーバ20から広告掲載会社PC50に対して、必要に応じ書籍情報や店舗情報なども送信される。また、広告掲載会社PC50に対しては、その広告掲載会社が扱う広告に関する書籍についての実績情報だけが送信されるように制御することもできる。

【0077】

図6に示す置き置き実績表示画面500は、店舗別実績表示部510、書籍別実績表示部520、および出版社別実績表示部530を含む。店舗別実績表示部510では、店舗別の実績情報が表示される。プルダウンメニューによって店舗と期間（置き置き予約がされた期間や実績がされた期間等）を選択することができ、これらが選択されると、その下の一覧表に、選択された条件における実績情報が表示される。この例では、書籍名、価格、出版社、購入数、置き置き予約数、置き置き購入数、および来店数（未購入）がそれぞれ表示される。置き置き予約数は、ユーザが情報端末40を用いて置き置き予約を行った数を表し、置き置き購入数は、置き置き予約を行ったユーザが指定した店舗に来店して書籍を購入した件数を表す。また、来店数（未購入）は、置き置き予約を行ったユーザが指定した店舗に来店したものの、置き置き予約をした書籍は購入しなかった場合の件数を表す。たとえば、この一覧表を見ると、書籍Eについては、来店したユーザの多くが購入していることがわかる。

【0078】

書籍別実績表示部520では、書籍別の実績情報が表示される。プルダウンメニューによって書籍と期間を選択することができ、これらを選択した後、その下の書店ランキングボタンや広告リンクランキングボタンをマウスでクリックする。たとえば、書店ランキン

10

20

30

40

50

グボタンをクリックすると、指定の期間内における書籍の購入数について、書店のランキング（たとえば、上位10店舗）が表示される。また、広告リンクランキングボタンをクリックすると、指定の期間内における書籍の置き置き購入数について、どの新聞の広告から購入に至ったのかがランキング（たとえば、上位5紙）で表示される。

【0079】

出版社別実績表示部530では、出版社別の実績情報が表示される。プルダウンメニューによって出版社を選択することができ、これらが選択されると、その下の一覧表に、選択された出版社が出版する書籍の実績情報が表示される。ここで示す一覧表の例は、店舗別実績表示部510で示したものと同様のフォーマットである。たとえば、この一覧表を見ると、書籍Fについては、多くの置き置き予約がされたが、書籍Gと比べると、その書籍を実際に手に取って見てから購入をしたユーザの割合がかなり低いことがわかる。

10

【0080】

ここでは、置き置き実績表示画面500を、広告掲載会社PC50の表示装置に表示される例を用いて説明したが、実績情報が、書籍管理サーバ20の実績情報管理部27から書籍納品会社PC60に送信される場合には、同様の置き置き実績表示画面が書籍納品会社PC60の表示画面に表示される。

【0081】

図7および図8は、店舗別書籍配置画面の例を示したものである。これらの画面は、たとえば、書籍管理サーバ20の配置情報管理部28から各店舗の店舗PC70に提供される書籍配置情報に基づいて生成され、店舗PC70の表示装置に表示される。図7の店舗別書籍配置画面600は、2008年10月8日におけるG書店の書籍配置を示唆するためのものである。店舗別書籍配置画面600は、店舗の平面図表示部610と、当該店舗内にある各書棚の書籍配置図表示部620とで構成される。

20

【0082】

平面図表示部610には、店舗内の書棚の配置が示され、各書棚には、それぞれいつ新聞広告に掲載された書籍を格納するかが示されている。また、この例では、新聞広告への掲載が新しい書籍ほど、入口に近い位置に配置されており、特に、最も新しい、10月8日掲載分については、他の掲載日よりも大きなスペースが用意されている。このような書籍の配置により、ユーザは、新聞広告に掲載された日を指標として、所望の書籍を容易に探すことができ、また、新聞広告に掲載された日が近いほど、その書籍へのアクセスが容易になっている。また、出口に近い書棚には、週間書評掲載分の書籍が陳列される。

30

【0083】

書籍配置図表示部620は、平面図表示部610に示す各書棚における書籍配置を表している。この例では、10月8日掲載分の書籍を配置する2つの書棚（10月8日掲載分（1）と10月8日掲載分（2））について示されている。書籍管理サーバ20の配置情報管理部28では、各書籍の配置位置が、置き置き予約の数や、掲載された新聞、記載内容の分野、新聞広告の掲載ページ、新聞広告の掲載欄サイズ、新聞広告の掲載欄位置等に基づいて、自動的に決定される。たとえば、記載内容の分野がごく一般的で、新聞広告の掲載欄が大きなサイズであるような書籍である書籍Dは、ユーザの目に付きやすい高さに多く配置される。

40

【0084】

また、新聞広告等が連日行われる書籍については、前日の実績情報を加味して各書籍の配置や数量を決定することができる。

【0085】

図8の店舗別書籍配置画面650は、2008年10月9日におけるG書店の書籍配置を示唆するためのものである。この店舗別書籍配置画面650は、図7に示す店舗別書籍配置画面600の翌日の書籍配置を示すものであり、店舗別書籍配置画面600と同様に、店舗の平面図表示部660と、当該店舗内にある各書棚の書籍配置図表示部670とで構成される。

【0086】

50

平面図表示部 660 には、店舗別書籍配置画面 600 と同様に舗内の書棚の配置が示されているが、ここでは、入口に最も近い位置に 10 月 9 日掲載分の書籍が配置され、それ以前に掲載されたものは矢印方向に移動（ローテーション）される。この結果、図 7 に示す店舗別書籍配置画面 600 で配置されていた 10 月 2 日掲載分の書籍がなくなっている。また、このようなローテーションを考えると、可動式の書棚を設けて、掲載日ごとにその書棚に書籍を配置し、毎日、その書棚をローテーションの方向に合わせて移動するように管理・運営することが合理的である。

【0087】

書籍配置図表示部 670 は、平面図表示部 660 に示す各書棚における書籍配置を表している。この例では、10 月 9 日掲載分の書籍を配置する 2 つの書棚（10 月 9 日掲載分（1）と 10 月 9 日掲載分（2））について示されている。ここで、書籍 E は、10 月 8 日、10 月 9 日と連続して新聞広告がされたものであるが、10 月 8 日の実績では、置き置き予約数や、購入数、来店数等が低調であることから、10 月 9 日の配置（図 7 の店舗別書籍配置画面 600 参照）に比べると、書棚の低い位置に数量を縮小して格納されている。また、書籍配置図表示部 670 には、前日掲載分（10 月 8 日）から 10 月 2 日分、および週刊書評掲載分に至るまでの書籍を配置する書棚についても示されている。この配置についても、10 月 8 日の実績情報や置き置き予約数によって評価され、生成されたものであり、書籍 E については、配置するのを極めて少なくしている。

【0088】

各店舗は、図 7 および図 8 に示す店舗別書籍配置画面の示唆に完全に従う必要はない。店舗別書籍配置画面は、各店舗に有効な情報を提供することを目的としている。各店舗は、これらの情報を基に各自アレンジして実際の店舗運営を行うことができる。また、各店舗は、店舗情報として一定の条件を付加して、書籍管理サーバ 20 から、その条件を前提とした店舗別書籍配置画面を受け取るようにすることができる。たとえば、書棚の数や位置など、店舗ごとの事情を条件として設定することができる。しかし、一方で、店舗別書籍配置画面の示唆により、書籍の配置について不慣れな店舗や店員に対して、合理的な配置の情報を提供することができる。

【0089】

次に、図 9 を参照して、本発明の一実施形態に係る書籍管理システム 1 の処理タイミングについて説明する。図 9 は、書籍管理システム 1 の各構成要素であるコンピュータまたはその場所において行われる代表的な処理を時間の経過とともに示したものである。この例では、ある書籍（書籍 Z）が新聞広告に掲載された初日と 2 日目について、関連する処理の処理タイミングを示している。書籍 Z は、今回初めて新聞広告に掲載されたものとし、時刻は 24 時間表記とする。

【0090】

最初に、広告掲載会社 PC 50 から、書籍管理サーバ 20 に当該書籍の書籍情報が送信される。この処理は、図 9 では 4 時までに行われることが望ましく、それ以前に受信しても良い。書籍管理サーバ 20 では、当該書籍の書籍情報に基づいて、この書籍に関して置き置き予約が可能ないように WEB ページを作成し、インターネット上の WEB サーバにアップロードする。ここでは、書籍管理サーバ 20 が WEB アクセス制御部 21 を備えており、書籍管理サーバ 20 自身が WEB サーバとなりうる。アップロードは、置き置き予約が可能になる 6 時までに行われることが望ましい。

【0091】

書籍管理サーバ 20 は、書籍情報を受信すると、この書籍について各店舗への配送を準備する。具体的には、各店舗へ配送する書籍の数量を見積り、配送センター PC 80 に対して配送指示情報を送信する。ここで、各店舗へ配送する書籍の見積りには、たとえば、新聞広告の掲載欄サイズや掲載欄位置サイズ等を含む書籍情報のほか、店舗面積や書棚のサイズ・配置等を含む店舗情報、書籍や同様の分野に属する他の書籍等に関する実績情報（過去の置き置き予約数、置き置き購入数、来店数など）等のデータが用いられうる。

【0092】

配送センターPC80は、受信した配送指示情報で指定された数量の書籍を、書籍納品会社に連絡して当該書籍を発注し、配送センターまたは書籍納品会社より各店舗に配送する。4時に書籍管理サーバ20から配送指示情報の送信があった後、店舗の開店準備が始まる7時までには指定された数量の書籍が各店舗に配送されることが望ましい。配送センターからの書籍の配送が、7時までには各店舗に行われると、各店舗はそこで、7日間陳列がされてもお購入がされなかった書籍を引き渡し、これらの書籍はその後、配送センターを経由して書籍納品会社に返品される。

【0093】

この時点で、この日、初めて新聞広告に掲載される書籍Zは、過去の実績情報も取り置き予約情報も把握できていない状態である。このような場合には、指定日または前日に納品がされるようにして、当日の4時には配送センターに十分な在庫がある状態としておくことが望ましい。そのために、たとえば、書籍管理サーバ20は、新聞広告に掲載される予定またはスケジュールを事前に入手して、その広告に関する情報を含む書籍情報や、類似する書籍に関する過去の実績情報等や取り置き予約情報を参考に、各店舗に配送すべき書籍の数を見積もり、その書籍の数を書籍納品会社に発注し、前日までに必要な数の書籍が配送センターに準備されるように運営することができる。

10

【0094】

また、書籍納品会社は、新聞広告に掲載される書籍について、指定日または前日までに所定数を一方的に配送センターに納品しておくこともできる（事前預かりの形態）。このようにすると、最初の配送において、納品された書籍の数が、書籍管理サーバ20で判定した各店舗への配送数より少ない（または多い）場合が生じうるが、そのような場合は、その過不足分を所定の条件で（たとえば均等に、あるいは店舗ごとに割合を変えて）負担させるようにできる。

20

【0095】

そして、6時から、ユーザの情報端末40で、取り置き予約の処理が可能となり、書籍管理サーバ20の取り置き予約管理部24は、WEBアクセス制御部21の機能を利用しながら、各ユーザからの取り置き予約を受け付ける。

【0096】

その後、8時には各店舗が開店し、書籍の販売が始まる。各店舗の顧客には、本発明に係る書籍管理システム1のユーザもいれば、そうでない一般の顧客もいる。したがって、店舗における購入には、書籍管理システム1のユーザによる取り置き予約した書籍の購入（取置購入）と、一般の顧客による購入（一般購入）がある。また、書籍管理システム1のユーザには、取り置いた書籍を見るために来店したが購入しなかった者や、取り置き予約をしたが一定期間内に来店しなかった者の存在も想定される。

30

【0097】

書籍管理サーバ20は、10時になると、6時から10時までの取り置き予約数の集計を行う。また、各店舗の店舗PC70では、8時から10時までの購入数、取り置き購入数、来店数等の実績情報が集計され、書籍管理サーバ20に送信される。書籍管理サーバ20の配送書籍見積部25はこれらのデータをもとに、今後、各店舗に配送すべき書籍の数量を見積もる。

40

【0098】

各店舗に配送すべき書籍の数量に関する見積もりは、たとえば、6時から10時までの取り置き予約数×係数1＋8時から10時までの購入数によって求められる（ただし、係数1は、0.5）。また、6時から10時までの取り置き予約数×係数1＋（8時から10時までの購入数×（8時から10時までの取り置き購入数／8時から10時までの取り置き予約数）×係数2）＋8時から10時までの購入数によって求めるようにもできる（ただし、係数1は0.5、係数2は0.1）。このような見積もりを行うことによって、実際に販売された書籍の数（購入数）を補うとともに、取り置き予約がされた数量についても一定の期待値で在庫を準備しておくことができ、取り置き予約によって書籍の概要を確認したいというユーザのニーズを高いレベルで満たす。また、後者の式では、所定期間

50

の実績情報、すなわち、置き置き予約された書籍の購入実績が加味されている。

【0099】

このように、様々な見積もり方法が考えられるが、上記のような見積もりでは、置き置き予約によって、一定の期間、100%書籍が確保されているという保証はない。また、ここで、係数1および係数2は、時間の経過とともに変化する数である。

【0100】

その後、配送センターPC80に対して配送指示情報を送信する。配送センターPC80は、受信した配送指示情報で指定された数量の書籍がその配送センターにない場合や将来的に不足すると予想される場合は、書籍納品会社に連絡して当該書籍を発注し、配送センターの在庫を補充する必要がある。10時に書籍管理サーバ20から配送指示情報の送信があった後、12時までには指定された数量の書籍が各店舗に配送されることが望ましい。

10

【0101】

次に、15時になると、書籍管理サーバ20において、10時から15時までの置き置き予約数の集計が行われる。また、各店舗の店舗PC70では、10時から15時までの置き置き購入数や来店数等の実績情報が集計され、書籍管理サーバ20に送信される。書籍管理サーバ20の配送書籍見積部25はこれらのデータをもとに、各店舗に配送すべき書籍の数量を見積もる。

【0102】

各店舗に配送すべき書籍の数量に関する見積もりは、たとえば、10時から15時までの置き置き予約数 $\times$ 係数1+10時から15時までの購入数によって求められる（ただし、係数1は、0.3）。

20

【0103】

その後、配送センターPC80に対して配送指示情報を送信する。配送センターPC80は、受信した配送指示情報で指定された数量の書籍がその配送センターにない場合や将来的に不足すると予想される場合は、書籍納品会社に連絡して当該書籍を発注し、配送センターの在庫を補充する必要がある。15時に書籍管理サーバ20から配送指示情報の送信があった後、17時までには指定された数量の書籍が各店舗に配送されることが望ましい。

【0104】

30

次に、22時になると、書籍管理サーバ20において、15時から22時までの置き置き予約数の集計が行われる。また、各店舗の店舗PC70では、15時から22時までの置き置き購入数や来店数等の実績情報が集計され、書籍管理サーバ20に送信される。各店舗は22時で閉店となる。ここで24時を越え、日が変わる。そして2時になると、書籍管理サーバ20において、前日の22時から2時までの置き置き予約数の集計が行われる。置き置き予約の受け付けは、2時で終了となる。書籍管理サーバ20の配送書籍見積部25はこれらのデータをもとに、各店舗に配送すべき書籍の数量を見積もる。

【0105】

また、4時には、広告掲載会社PC50から、書籍管理サーバ20に当該書籍の書籍情報が送信される。この例では、今回の書籍情報に書籍Zが含まれていない、すなわち、この日については、書籍Zの新聞広告がないものとする。

40

【0106】

各店舗に配送すべき書籍の数量に関する見積もりは、今回初めて新聞広告に掲載された書籍については前述のとおりである。書籍Zについての見積もりは、たとえば、（15時から22時までの置き置き予約数+22時から2時までの置き置き予約数） $\times$ 係数1+15時から22時までの購入数によって求められる（ただし、係数1は、0.2）。

【0107】

見積もりが完了したら、配送センターPC80に対して配送指示情報を送信する。4時に書籍管理サーバ20から配送指示情報の送信があった後、7時までには指定された数量の書籍が各店舗に配送されることが望ましい。このように、書籍管理サーバ20における

50

見積もりは、1日の間に、任意の複数のタイミングで行うことができ、そのそれぞれの見積もりにおいて、見積もり方法を変える（たとえば、見積もりの計算式や見積もりに用いるデータを変える）ことができる。

【0108】

図9では、各店舗に配送すべき書籍の数量に関する見積もりについて、一例を示したに過ぎず、他のさまざまなタイミングで求めることができる。また、見積もりについて他のデータを用いたり、他の計算式を用いて見積もりを行うこともできる。たとえば、置き置き予約を行ったユーザの来店頻度（来店数）、置き置き予約を行ったユーザが指定の閲覧店舗で置き置きした書籍を購入した頻度（置き置き購入数）、置き置き予約を行ったユーザが指定の閲覧店舗に来店してものの、置き置きした書籍を購入しなかった頻度、同様の分野や同じ作者の別の書籍についての購入数、置き置き予約数、置き置き購入数、来店数や、他の地域における新聞広告での実績情報などを用いて予測を行うことができる。

10

【0109】

また、置き置き予約を行ったユーザに関する過去の置き置き予約、置き置き購入の実績を加味して見積もりを行うこともできる。

【0110】

次に、図10を参照して、本発明の一実施形態に係る書籍管理システム1の書籍管理サーバ20、配送センターPC80、広告掲載会社PC50、および書籍納品会社PC60として用いられるコンピュータのハードウェア構成の例について説明する。ただし、図10のコンピュータ800は、コンピュータの代表的な構成を例示したにすぎない。

20

【0111】

コンピュータ800は、CPU（Central Processing Unit）801、メモリ802、音声出力装置803、ネットワークインタフェース804、ディスプレイコントローラ805、ディスプレイ806、入力機器インタフェース807、キーボード808、マウス809、外部記憶装置810、外部記録媒体駆動装置811、およびこれらの構成要素を互いに接続するバス812を含んでいる。

【0112】

CPU801は、コンピュータ800の各構成要素の動作を制御し、OSの制御下で、本発明に係る書籍管理システム1の機能を実行する。たとえば、書籍管理サーバ20においては、置き置き予約管理部24や配送書籍見積部25等、各機能の実行を制御する。

30

【0113】

メモリ802は通常、不揮発性メモリであるROM（Read Only Memory）、および揮発性メモリであるRAM（Random Access Memory）から構成される。ROMには、コンピュータ800の起動時に実行されるプログラム等が格納される。RAMには、CPU801で実行される書籍管理サーバ20や配送センターPC80等の各機能を実現するためのプログラムや、それらのプログラムが実行中に使用するデータが一時的に格納される。

【0114】

音声出力装置803は、たとえば、スピーカ等の機器であり、動画プレイヤー等から音声データを受け取り、音声を出力する。

【0115】

ネットワークインタフェース804は、ネットワーク820に接続するためのインタフェースである。ネットワーク820は、たとえば、図2に示したネットワーク100に対応する。

40

【0116】

ディスプレイコントローラ805は、CPU801が発行する描画命令を実際に処理するための専用コントローラである。ディスプレイコントローラ805で処理された描画データは、一旦グラフィックメモリに書き込まれ、その後、ディスプレイ806に出力される。ディスプレイ806は、たとえば、LCD（Liquid Crystal Display）やCRT（Cathode Ray Tube）で構成される表示装置である。

【0117】

50

入力機器インタフェース 807 は、キーボード 808 やマウス 809 から入力された信号を受信して、その信号パターンに応じて所定の指令を CPU 801 に送信する。

【0118】

外部記憶装置 810 は、たとえば、ハードディスクドライブ (HDD) のような記憶装置であり、この装置内には上述したプログラムやデータが記録され、実行時に、必要に応じてそこからメモリ 802 の RAM にロードされる。たとえば、書籍管理サーバ 20 の記憶装置 30 や、配送センター PC 80 の記憶装置 90 が、このような記憶装置に対応する。

【0119】

外部記録媒体駆動装置 811 は、CD (Compact Disc)、MO (Magneto-Optical Disc)、DVD (Digital Versatile Disc) などの可搬型の外部記録媒体 830 の記録面にアクセスして、そこに記録されているデータを読み取る装置である。外部記録媒体 830 には、本発明に係る書籍管理システム 1 を実現するための書籍管理サーバ 20 のプログラムも記録することが可能である。外部記録媒体 830 に記録されているデータは、外部記録媒体駆動装置 811 を介して外部記憶装置 810 に格納され、プログラムであれば、実行時にメモリ 802 の RAM にロードされる。

【0120】

本発明に係る書籍管理システム 1 を実現するためのプログラムの他の流通形態としては、ネットワーク上の所定のサーバから、ネットワーク 820 およびネットワークインタフェース 804 を介して外部記憶装置 810 に格納されるというルート等も考えられる。こうして格納されたプログラムは、上記と同様に、実行時にメモリ 802 の RAM にロードされ、実行される。

【0121】

前述のように、こうしたコンピュータの構成は基本的に、書籍管理サーバ 20、配送センター PC 80、広告掲載会社 PC 50、および書籍納品会社 PC 60 に共通であるが、書籍管理サーバ 20 等、専らサーバとして機能するコンピュータについては、音声出力装置 803、ディスプレイコントローラ 805、ディスプレイ 806、入力機器インタフェース 807、およびキーボード 808 は必須の構成要素ではない。

【0122】

これまで、本発明の一実施形態に係る書籍管理システム 1 の機能について説明してきたが、上記システムの構成は一例にすぎず、他の様々な構成によって本発明の思想を実現することができる。たとえば、書籍管理システム 1 における各コンピュータの構成、機能配分、および接続形態等は、既知の様々な方法により代替可能である。また、各テーブルの構成、内容等についても他の多くの形態を用いて実現することができる。

【図面の簡単な説明】

【0123】

【図 1】本発明の一実施形態に係る書籍管理システムの概要を示す略線図である。

【図 2】本発明の一実施形態に係る書籍管理システムの機能ブロック図である。

【図 3】本発明の一実施形態に係る書籍管理システムにおけるユーザ登録画面の例を示す略線図である。

【図 4】本発明の一実施形態に係る書籍管理システムにおいて、置き置き予約の際に情報端末の表示装置に表示される画面の例を示す略線図である。

【図 5】本発明の一実施形態に係る書籍管理システムにおいて、置き置き予約の際に情報端末の表示装置に表示される画面の例を示す略線図である。

【図 6】本発明の一実施形態に係る書籍管理システムにおける置き置き実績表示画面の例を示す略線図である。

【図 7】本発明の一実施形態に係る書籍管理システムにおける店舗別書籍配置画面の例を示す略線図である。

【図 8】本発明の一実施形態に係る書籍管理システムにおける店舗別書籍配置画面の例を示す略線図である。

【図 9】本発明の一実施形態に係る書籍管理システムにおける処理タイミングを示す略線図である。

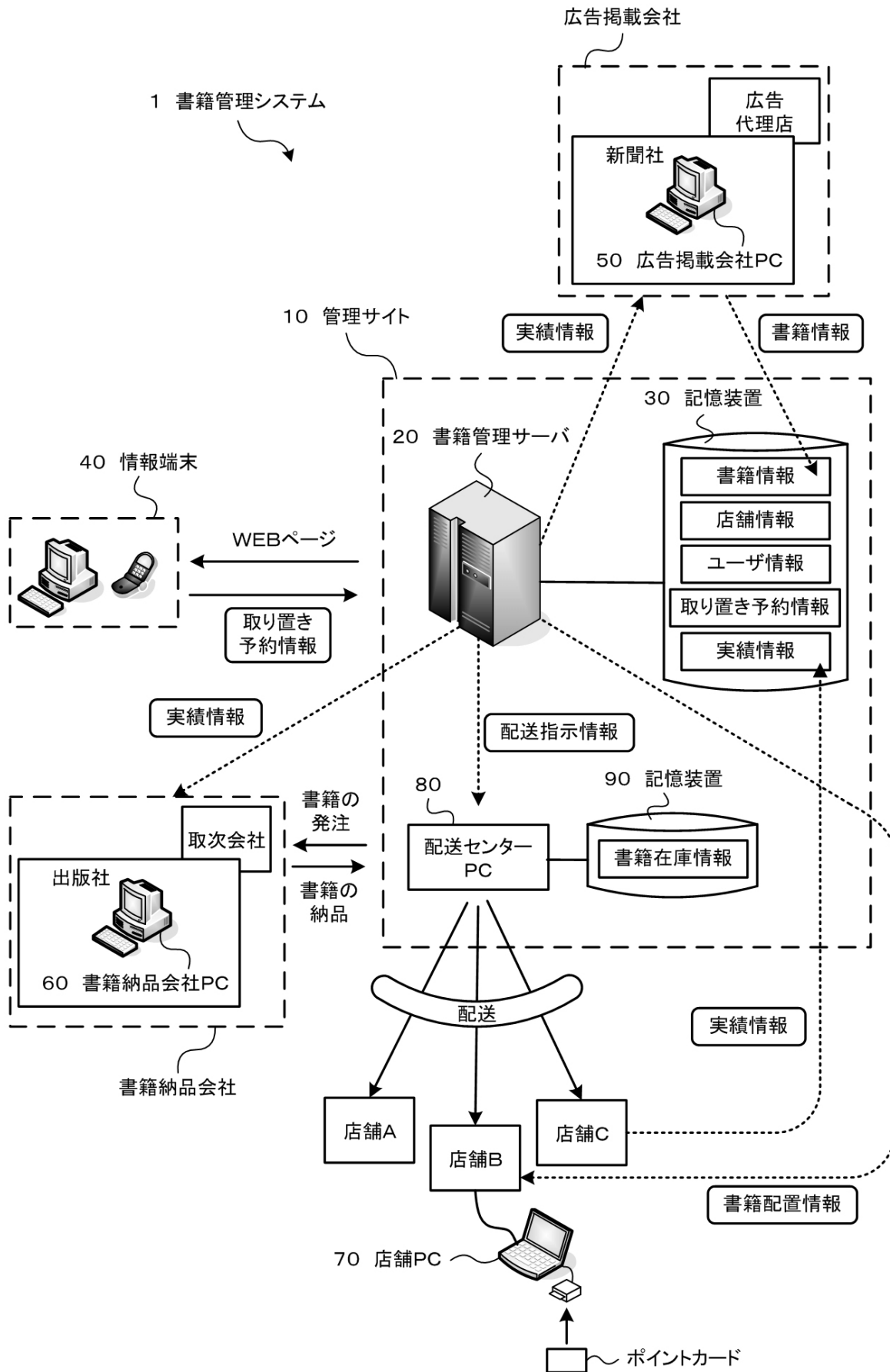
【図 10】本発明の一実施形態に係る書籍管理システムで用いられるサーバや P C 等を構成するコンピュータのハードウェア構成の例を示す略線図である。

【符号の説明】

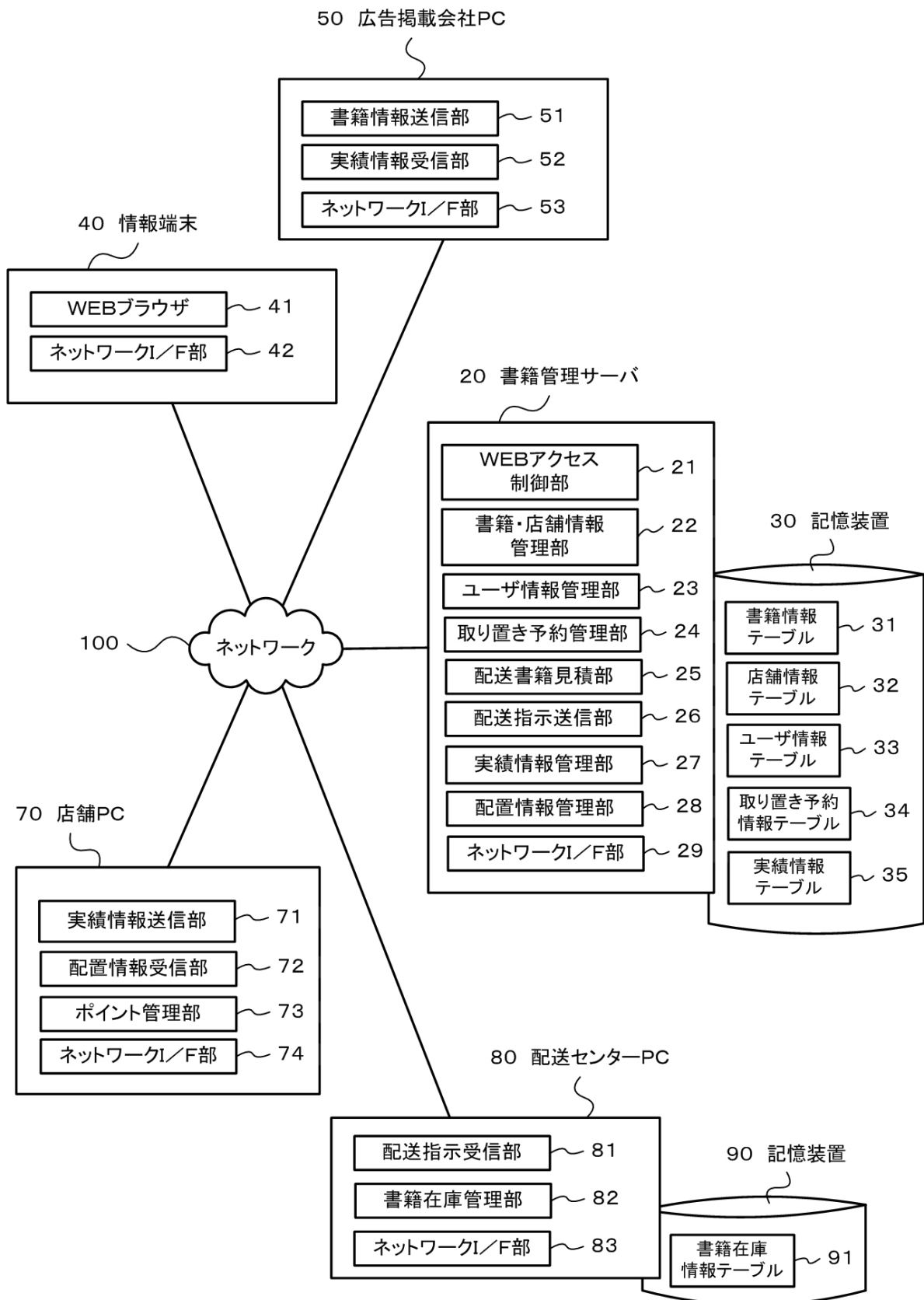
【0124】

1・・・書籍管理システム、10・・・管理サイト、20・・・書籍管理サーバ、30・・・記憶装置、40・・・情報端末、50・・・広告掲載会社 P C、60・・・書籍納品会社 P C、70・・・店舗 P C、80・・・配送センター P C、90・・・記憶装置、100・・・ネットワーク、800・・・コンピュータ、801・・・C P U、802・・・メモリ、803・・・音声出力装置、804・・・ネットワークインタフェース、805・・・ディスプレイコントローラ、806・・・ディスプレイ、807・・・入力機器インタフェース、808・・・キーボード、809・・・マウス、810・・・外部記憶装置、811・・・外部記録媒体駆動装置、812・・・バス、820・・・ネットワーク、830・・・外部記録媒体

【図1】



【図 2】



【図 3】

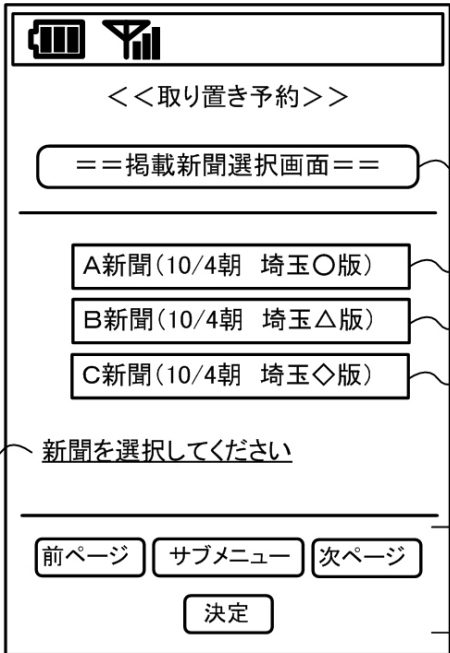
200 ユーザ登録画面

The screenshot shows a web browser window with a menu bar (ファイル(F), 編集(E), 表示(V)), a back button, a forward button, a refresh button, and a URL bar containing "http://". The main content area is titled "==ユーザ登録画面==" and contains several sections:

- ユーザID** and **パスワード** input fields.
- ユーザプロフィールの設定** section (210):
 - ユーザ名** and **メールアドレス** input fields.
 - 職業** input field.
 - 自宅住所** and **勤務先住所** input fields.
 - 年齢** and **性別** input fields.
- 書籍の広告が掲載される新聞等の設定** section (220):
 - 掲載される新聞**: Two dropdown menus for "A新聞" and "埼玉版", and "B新聞" and "東京版".
 - 朝刊** and **夕刊** radio buttons.
 - 書籍の表示順**: A dropdown menu for "取り置き予約数", "販売数", and ".....".
- 取り置き店舗の設定** section (230):
 - 店舗**: Three dropdown menus for "1", "2", and "3", with options like "□□駅 G書店", "▽▽町 H書店", and ".....".
 - 店舗の表示順**: A dropdown menu for "勤務先住所の近傍", "住所の近傍", and ".....".
- 取り置き書籍の設定** section (240):
 - 書籍の数**: A dropdown menu for "1", "取り置き予約時に指定", and ".....".

【図 4】

A



300

<<取り置き予約>>

==掲載新聞選択画面== 301

A新聞(10/4朝 埼玉○版) 302

B新聞(10/4朝 埼玉△版) 303

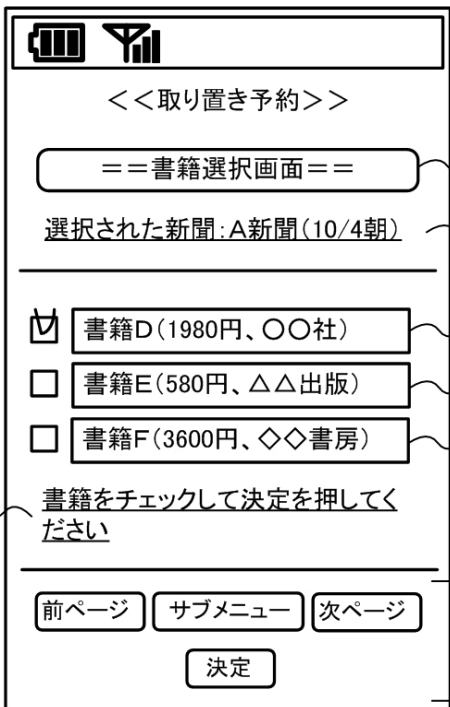
C新聞(10/4朝 埼玉◇版) 304

305 新聞を選択してください

前ページ サブメニュー 次ページ 306

決定

B



350

<<取り置き予約>>

==書籍選択画面== 351

選択された新聞:A新聞(10/4朝) 352

☒ 書籍D(1980円、○○社) 353

☐ 書籍E(580円、△△出版) 354

☐ 書籍F(3600円、◇◇書房) 355

356 書籍をチェックして決定を押してください

前ページ サブメニュー 次ページ 357

決定

【図 5】

A

400

<<取り置き予約>>

==店舗指定画面== 401

選択された新聞:A新聞(10/4朝) 402

選択された書籍:書籍D 403

□□駅 G書店 404

▽▽町 H書店 405

コンビニJ □□店 406

407 店舗を選択してください

408

前ページ サブメニュー 次ページ

決定

B

450

<<取り置き予約>>

==取り置き完了確認画面== 451

以下の内容で取り置き予約が完了しました 452

書籍D □□駅G書店 453

本日8:00~3日後20:00まで取り置き致します。 454

取り置き終了6時間前にメールで連絡します

☑ 不要 455

500 取り置き実績表示画面

[illegible]

【図 7】

600 店舗別書籍配置画面

610

620

ファイル(F) 編集(E) 表示(V)

http://

==店舗別書籍配置画面==

店舗名 □□駅 G書店 2008年10月8日

平面図

10月4日 掲載分 10月5日 掲載分 10月6日 掲載分

10月3日 掲載分 10月2日 掲載分 週間書評 掲載分

月刊誌 雑誌 月

10月7日 掲載分 10月8日 掲載分(2) 10月8日 掲載分(1)

カウンター

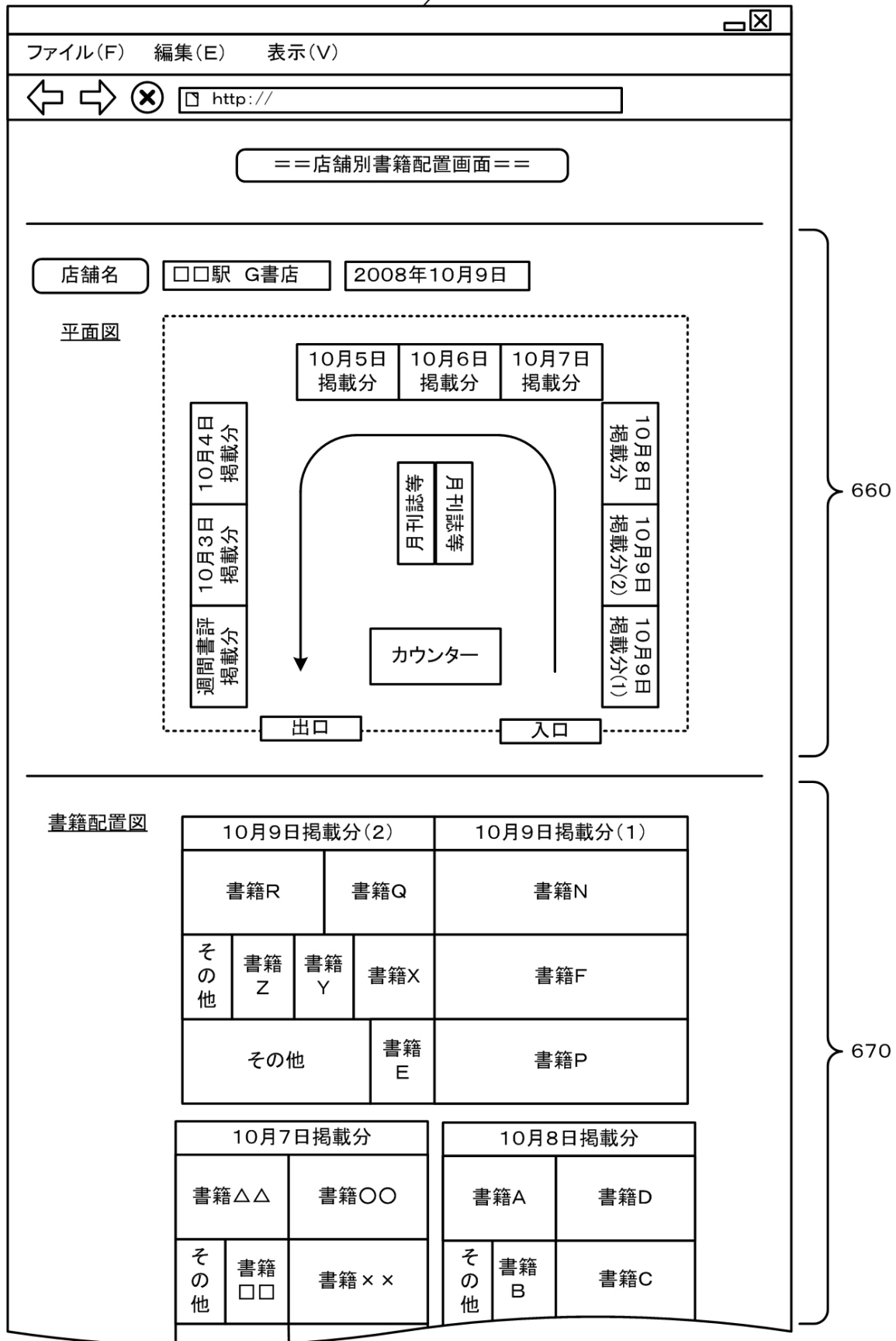
出口 入口

書籍配置図

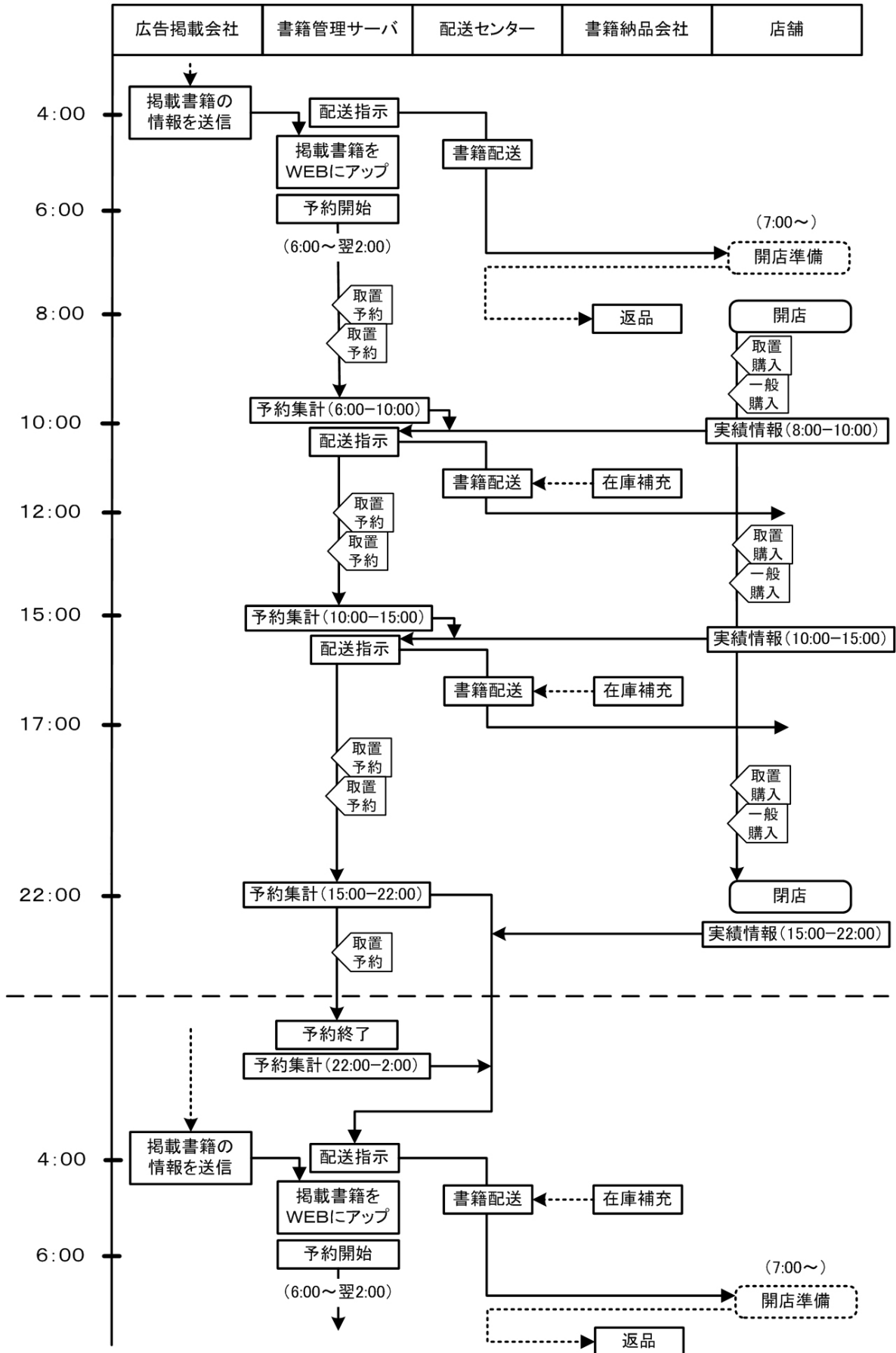
10月8日掲載分(2)				10月8日掲載分(1)	
書籍F		書籍D		書籍D	
その他	書籍I	書籍H	書籍G	書籍E	書籍A
その他			書籍C	書籍B	

【図 8】

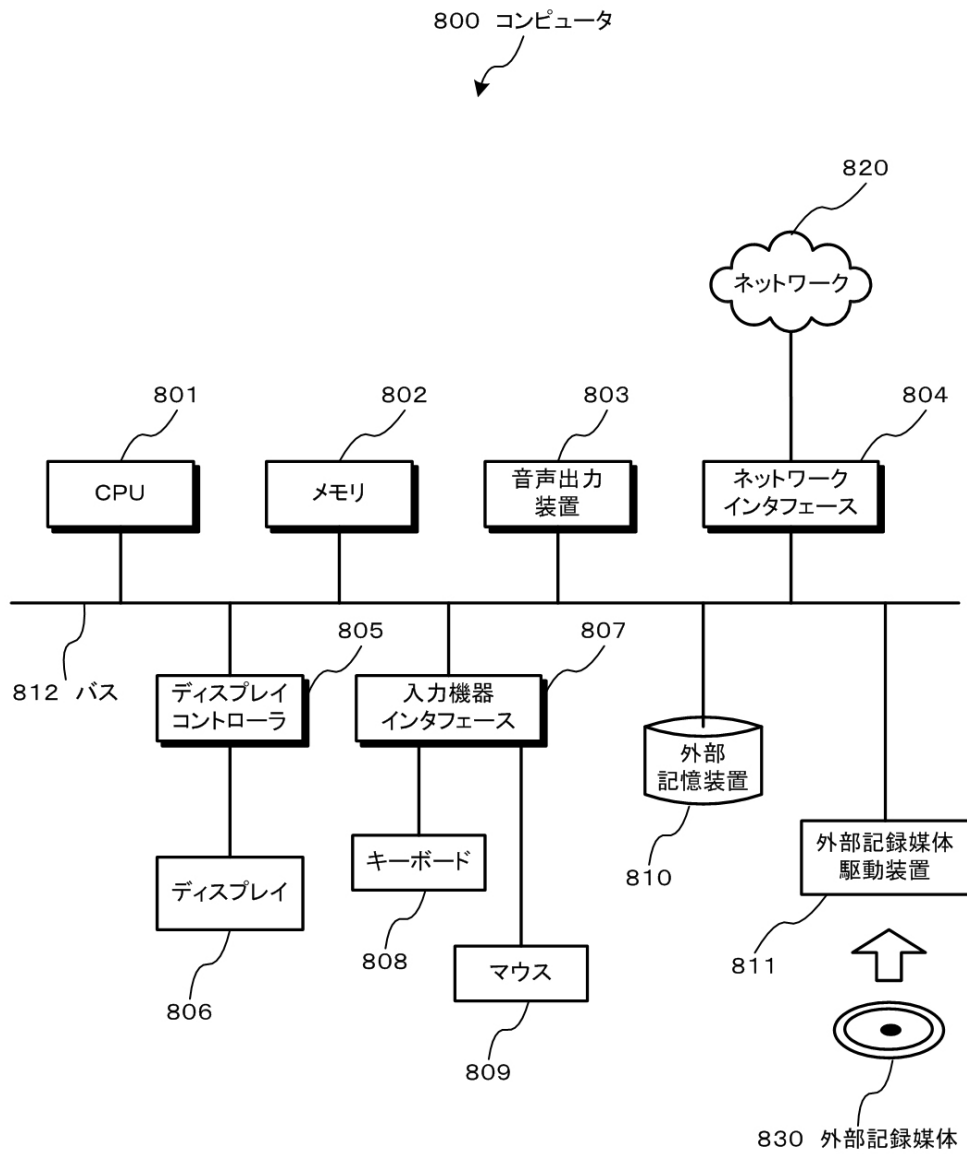
650 店舗別書籍配置画面



【図 9】



【図 10】



フロントページの続き

- (56)参考文献 特開2004-192356 (JP, A)
特開2002-002925 (JP, A)
特開2002-024656 (JP, A)
特開2008-159011 (JP, A)
特開2003-162670 (JP, A)